

### 3 報告事項

#### 4) 樹木の安全対策

##### 【掘削工事で判明した樹木の状況と課題】

上段広場において土壌対策工事を実施する中で、以下の課題が見つかりました。

- ① 現況地盤の40cm以下に瓦礫や砕石等の硬い層があり、そのため樹木の根が下に伸びることができず、上段広場の主要な樹木は横に根を張ることで全体を支持していたことがわかりました(写真1)。さらに土壌対策工事では樹木の周りの土壌を取り除き、支持していた根の多くを切断したため、一時的に樹木全体が硬い地盤の上にとっただけの状態になり、外的な要因で樹木が傾く可能性が考えられました(写真2)。
- ② 境界沿いのNo.127のクスノキの主根が外側の擁壁(道路)側に伸びており、計画通りに切断することが難しい状況でした(写真3)。



写真1: 伐根したケヤキの根系



写真2: 小学校側ケヤキ存置状況



写真3: No.127 クスノキの根の状況

##### 【課題に対する対応】

上記の2つの課題に対して樹木専門家に現地にてご意見を伺い、以下の対策を行いました。

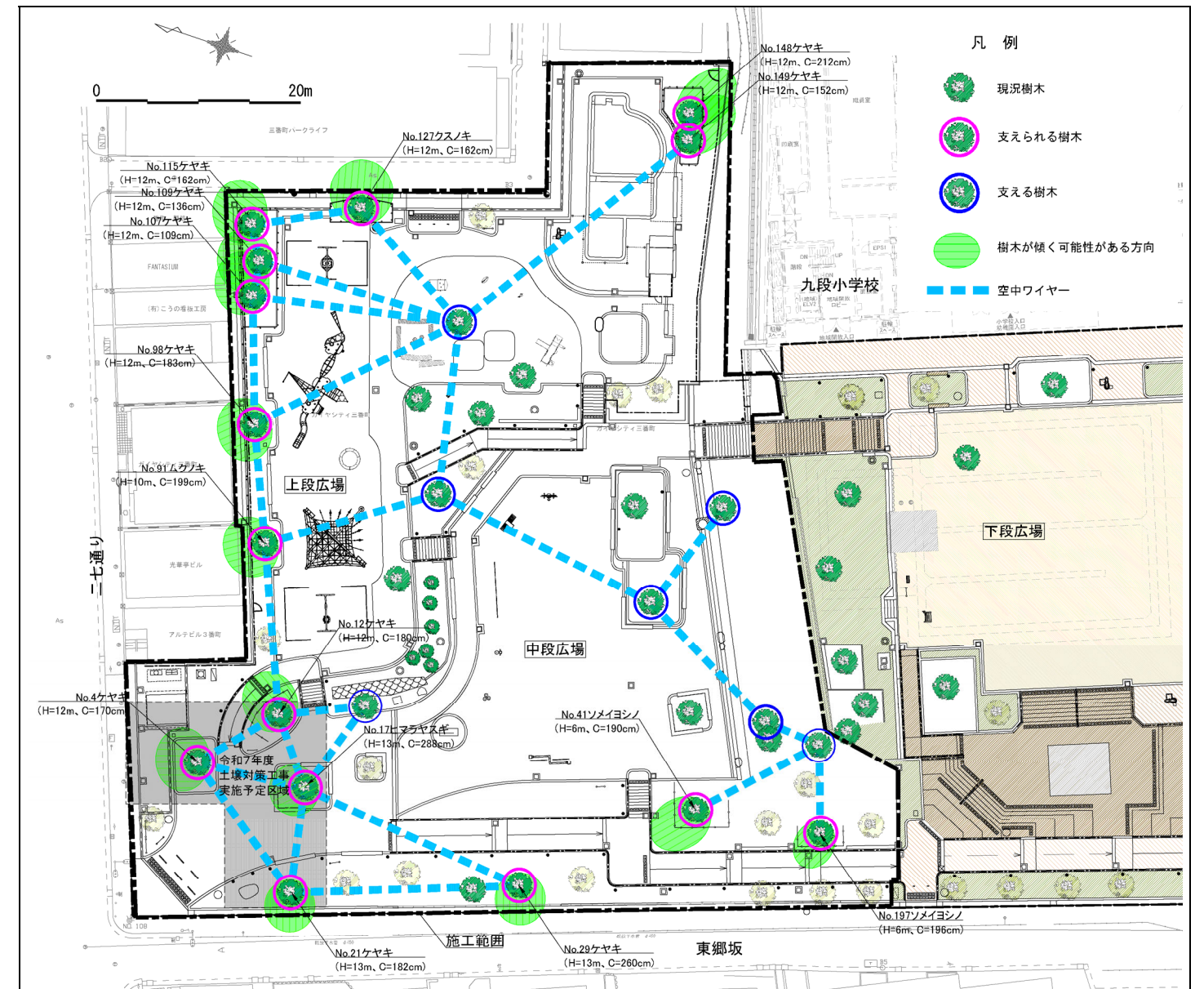
##### 転倒対策

①の樹木に対しては、右図のように上段・中段広場に保全した樹木同士を空中ワイヤーでつなぎ、樹木1本にかかる突風等の負荷を軽減する対策を行いました。空中ワイヤーは樹木が再び自身の根で十分支持できようになるまでの今後10年程度設置する予定です。

##### クスノキの保全対策

②のクスノキについても、健全に保全するためには切断した根の発根を促進することが最も重要であるため、板柵の設置位置を変更することを前提に、発根空間の確保できる位置で根を切断し、適切な腐朽防止処置及び根の周りの土壌改良を行いました。クスノキの保全整備イメージは右図のとおりです。整備内容に関しては関係機関と協議を行い、了承を得ています。

##### ■安全対策実施状況



##### ■クスノキ保全整備イメージ



##### ■空中ワイヤー設置状況





### 3 報告事項

#### 5) 遊具について


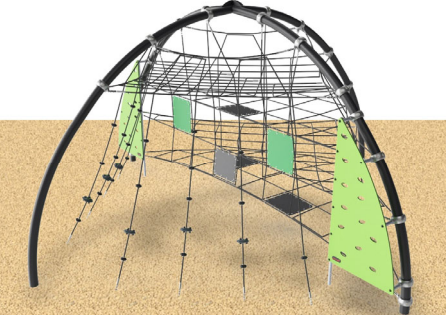



来年度から始まる公園改修工事においては、随時遊具の設置を行います。発注している遊具は以下の通りです。上段広場に児童及び幼児用の遊具、中段広場に健康遊具を設置することで多様な世代が遊び・運動できる空間を整備します。

##### 【上段広場】

- ・様々な年齢の子ども達が安全に遊べるように、乳幼児ゾーンと児童ゾーンを設定し、多様な遊びを楽しむことができる遊具を選定しています（第13回協議会にて説明）。
- ・公園改修工事にあたり、廃番になった遊具（大型複合遊具、ネット遊具）については、同等の遊びの機能を有した新シリーズに変更しています。
- ・体の障がいがある・なしに関わらず、あらゆる子ども達が一緒に遊ぶことができるように、下表のようなブランコに変更しました。

★：体の障がいがある・なしに関わらず、様々な子ども達が一緒に遊ぶことができる遊具

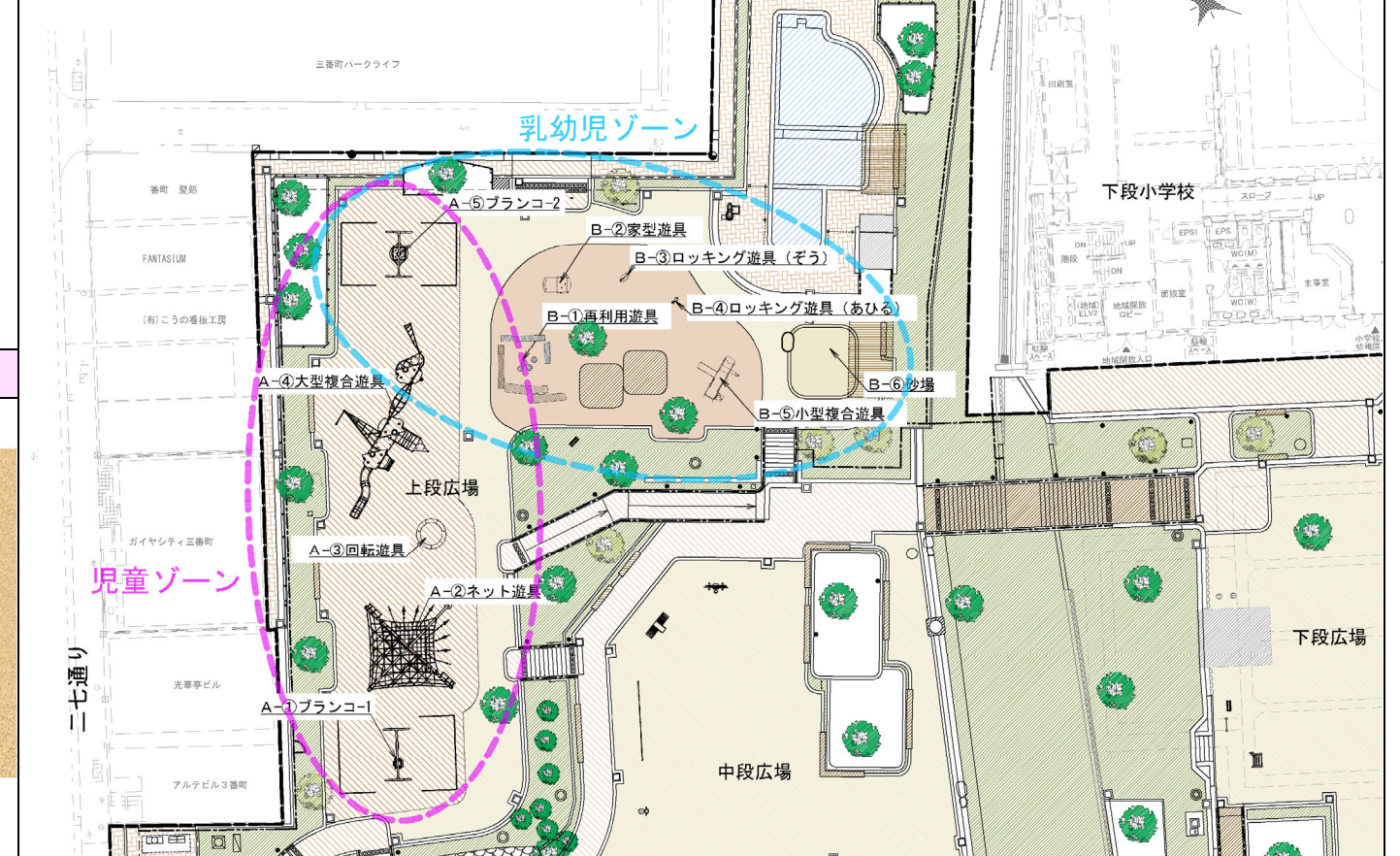
##### ■児童ゾーン遊具

<p><b>A-①ブランコ-1 ★</b></p>  <p>★シートとハーネスに固定されることで、自身で体を支えることができない子供でもより安心して遊ぶことができる</p>	<p><b>A-②ネット遊具</b></p>  <p>※新シリーズに変更</p>	<p><b>A-③回転遊具</b></p> 
<p><b>A-④大型複合遊具</b></p>  <p>※新シリーズに変更</p>	<p><b>A-⑤ブランコ-2★</b></p>  <p>★寝そべってのったり、親子や複数人で遊ぶことができる</p>	

##### ■乳幼児ゾーン遊具

<p><b>B-①再利用遊具</b></p> 	<p><b>B-②家型遊具</b></p> 	<p><b>B-③ロッキング遊具（ぞう）</b></p> 
<p><b>B-④ロッキング遊具（あひる）</b></p> 	<p><b>B-⑤小型複合遊具</b></p> 	<p><b>B-⑥砂場★</b></p>  <p>★車いす使用者もサンドテーブルと一緒に遊ぶことができる</p>

##### ■遊具配置図


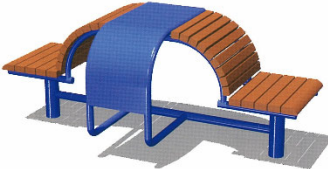

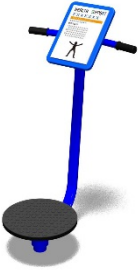

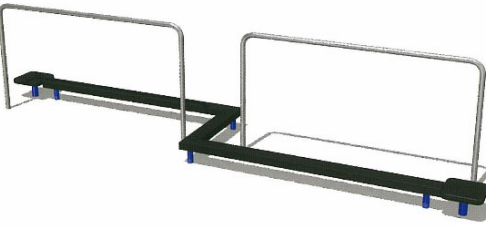



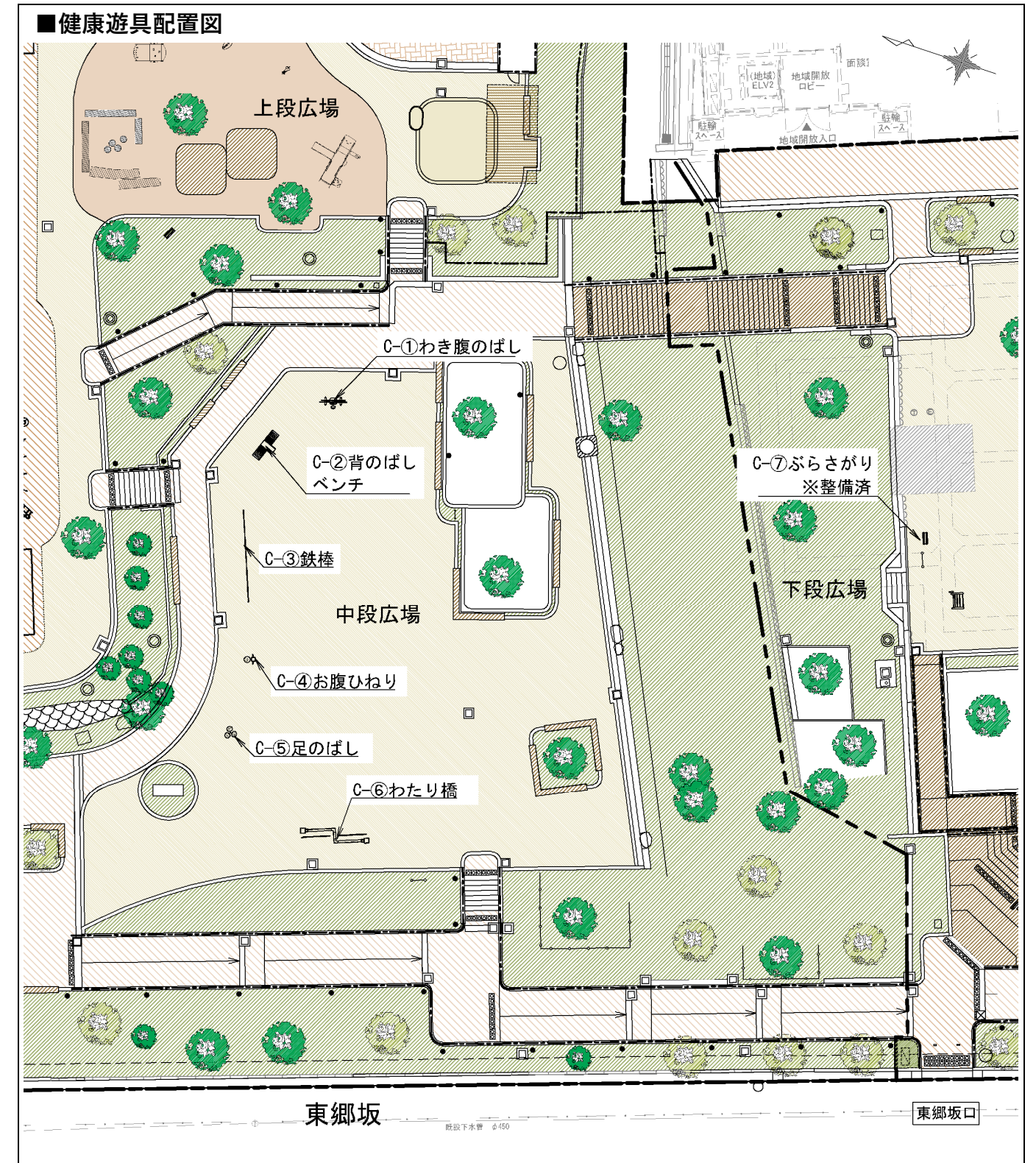


### 3 報告事項

#### 【中段広場】

健康遊具については、公園遊具としての利用状況や多世代で利用できる等の多様性を考慮し選定しています(第9回定例会にて説明)。

C-①わき腹のぼし	C-②背のぼしベンチ	C-③鉄棒
		
パワートレーニング系 上半身、横方向の運動	ウォームアップ系 背中ストレッチ（リラックス）	パワートレーニング系 上半身の運動
C-④お腹ひねり	C-⑤足のぼし	C-⑥わたり橋
		
パワートレーニング系 腰の柔軟性	ウォームアップ系 足のストレッチ	ウォームアップ系 歩行とバランスの向上
C-⑦ぶらさがり ※下段広場整備済		
		
ウォームアップ系 肩のストレッチ		





### 3 報告事項

#### 6) 令和5年度下段広場活用事例

下段広場では花火とボール利用の試行運用、及びプレイスメイキング(居心地の良い場所づくり)の実証実験を行いました。

##### ①花火利用について

千代田区では、区立の公園・児童遊園・広場において火気の使用は安全面の観点等より原則禁止としています。「公園で花火をしたい」という区民の声を踏まえ、一部区立公園で試行期間、注意事項を設け、花火の利用を認めました。

今回の試行を踏まえ、次年度以降の本格実施に向けての検討を行っています。

##### ■開催概要

- ・ 期間：令和5年9月8日(金)～9月10日(日)の3日間  
午後6時から午後8時まで(準備、撤収を含む)  
令和5年9月8日(金)は台風の影響で中止
- ・ 利用対象者：手持ち花火程度をこども及びその保護者が利用可能
- ・ 開催結果：利用期間は50名から最大300名程度



##### ②ボール利用について

東郷元帥記念公園の利用に関する課題解決を図るとともに、ボール遊び等の禁止事項を緩和するため、未就学児、小学生(低学年・高学年)を中心に遊べる時間帯を設け、ルール・マナーなどに関する利用状況の実態調査を行いました。中学生に関しては飯田橋三丁目広場の利用を推奨するとともに外濠グラウンドの子どもの遊び場事業との連携を図りました。

今回の試行を踏まえ、中学生への対応や利用ルールの決定と周知、ボール遊びが外へ出ないような環境整備が課題として明らかになりました。

##### ■開催概要

- ・ 期間：令和5年12月26日(火)、27日(水)、28日(木)  
令和6年1月4日(木)、5日(金)
- ・ 利用対象者：未就学児、小学生(低学年・高学年)
- ・ 開催結果：

	天気	9:00～12:00 (未就学児)	13:00～15:00 (低学年)	15:00～17:00 (高学年)
12月26日(火)	晴	1人	15人	2人
12月27日(水)	晴	0人	14人	7人
12月28日(木)	晴	2人	6人	2人
1月4日(木)	晴	5人	10人	0人
1月5日(金)	晴	0人	9人	0人





### 3 報告事項

#### ③プレイスメイキング実証実験

ウォークアブルなまちづくりを進めるため、道路などのパブリック空間を活用したプレイスメイキング（居心地の良い場所づくり）の実証実験として、あるまっぷCHIYODA（コミュニティパートナー株式会社）主催で屋外コミュニティ空間を活用したまちづくりイベント「公園でつながる」が行われました。

#### ■開催概要

・日時：令和5年12月17日（日）11時～16時

・イベント内容

地域団体の活動紹介&交流の場、焼き芋体験（事前申込制）、カフェコーナー、駄菓子詰め放題、パンやスープの販売、薪ストーブ&くつろぎ芝スペース、万華鏡で自然体験、木育キーホルダーづくり など



焼き芋体験



カフェコーナー



薪ストーブ&くつろぎ芝スペース



万華鏡で自然体験、木育キーホルダーづくり